

# 宗門の復興支援活動続く

原発事故の影響で深刻な物資不足

## 福島・南相馬市へ支援

### 東京・現地本部が市長と支援方針を協議

東京教区現地緊急災害対策本部（本部長＝山本政秀教務所長、築地別院内）は4月3日、原発事故の影響で物資が届かない福島県南相馬市の市役所を訪れた。この訪問は、宗派が基盤となって設立した「写真」レトルト食NPO「JIPPO」（十品や米などを差し入方）の中村尚司専務

理事が福島県庁職員と連絡を取り合う中で実現。南相馬市が物資不足で孤立無援となつていて、先引きの見えない現状に市民は不安を募らせている」と窮状を訴えた。これに対し、山本本部長が物資の搬入を約束した。

この後、同市の常福寺、光慶寺、勝縁寺を訪ねた。

4月6日には、築地郵便局も停止している市場で購入した野菜など支援物資を、2トトなる1万4000人がラックに積んで同市小



川町体育館に届けた。わき市内の避難所へ物資を搬入し、炊き出しを行った。問い合わせは東京教区現地緊急災害対策本部。

また、その時に市民から要望されたテレビ（大阪教区から提供）の後日届け、福島県い